



パウダー銀行？

ご存じですか？

ひと昔前は、「竹」は身近にある生活道具の材料や建築資材として使われていましたが、需要がなくなるとともに、数が増えすぎてやっかいものになってしまいました。ですが、いま「持続可能な循環型の資材」しかも「地産地消がしやすい資材」として利用して行ける道が見つかりました。それが「竹パウダー」であり「竹パウダー銀行」の存在なのです。

公益社団法人

三田市シルバー人材センター

竹・バイオ資源活用普及会 竹炭班

ちょっと！お母さん！ 台所からはじまる循環社会だって！

竹パウダーは、優等生。

竹パウダーは、竹を粉状に砕いたもので竹は糖分が豊富なので、それをエサにする微生物が増えます。そのひとつが発酵を促す乳酸菌です。また、竹の細胞の中には、顕微鏡で見ると沢山の穴があり、微生物の住み家になりやすいのです。

竹パウダーは、微生物のエサと住み家の両方が同時に供給できる優れた資材といえます。もちろん発酵させなくても土を良くしたり、生ゴミからぼかし(堆肥)を作る資材としても使え、竹の使い道のひとつとして農業分野などでも注目されています。

ぼかし(堆肥)は、乳酸菌の力で発酵させるため、竹パウダーコンポスト*を使用します。竹パウダーの中に生ゴミを混ぜ込んでおくだけでぼかし(堆肥)にすることができます。竹林整備で竹を処分するだけでは、ゴミを増やすだけです。竹パウダーコンポストの材料とする事で、生ゴミの減量にもつながり有機的なぼかし(堆肥)をつくることができます。化学肥料の使用を減らす事が出来れば、さらに環境の保全につながります。このように竹パウダーは、環境にとってのプラスの連鎖を生むことができる素材なのです。

* コンポスト

短時間で作られた堆肥。発酵しやすい環境を作り出すことで、約1~2ヶ月でぼかし(堆肥)が作られます。

竹パウダー銀行のしくみ。



講習会

講習会(参加費500円)を受けていただき、竹パウダー1袋15ℓとスターターグッズを配布、竹パウダーのコンポスト*をご家庭でスタート。



ご家庭

お渡しする竹パウダー1袋15ℓで3ヶ月後、ぼかし(堆肥)が10kgできます。半分の5kgはご家庭の利用。残りの5kgを竹パウダー銀行へ持参いただけます。



交換



竹パウダー銀行

新しい竹パウダー1袋15ℓと、ぼかし(堆肥)ブレンド1kgが交換できます。



竹パウダー銀行に持参いただいた5kgのぼかし(堆肥)は、販売・銀行の運営費・三田のニュータウンの街路樹を元気にする活動・保育園の食育の活動に使われます。



三田のニュータウンの街路樹を元気にする活動「並木もり活」。

講習会(参加費500円)で、その後は全く費用をかけずにお渡しするコンポスト*材料(スターターグッズ)で出来たぼかし(堆肥)とあたらしい竹パウダーを交換し続ける事が出来ます。500円の投資から始まり、持続可能な環境保全活動や生ゴミの減少など、ご家庭での楽しみを続ける事が可能な仕組みです。ぜひ、ご参加ください。

公益社団法人 **三田市シルバー人材センター** 竹・バイオ資源活用普及会 竹炭班

669-1323 兵庫県三田市あかしあ台5-32-2 Email: sandasilver631015@sandasc.org Web: <http://www.sandasc.org/>

お問い合わせ先 TEL: **079-564-7501** FAX: **079-553-1300**

三田市シルバー人材センター

検索

講習会の開催場所・時間等は、お問い合わせください。